

Vol.19(2021) No.08(04/15)L05

COVID-19 関連の急性呼吸窮迫症候群の治療における IL-1 受容体拮抗薬アナキンラ:後ろ向き観察研究

IL-1 Receptor Antagonist Anakinra in the Treatment of COVID-19 Acute Respiratory Distress Syndrome: A Retrospective, Observational Study

Franzetti M, Forastieri A, Borsa N, et al.

【J Immunol. 2021 Apr 1;206(7):1569-1575.】-peer reviewed(査読済み)

(要旨)

IL-1 受容体拮抗薬アナキンラは、COVID-19 に伴う急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) の治療上の選択肢となる可能性がある。本研究では、2020 年 3 月 5 日～4 月 15 日にイタリアの Lecco の Azienda Socio Sanitaria Territoriale に入院した COVID-19 ARDS 患者で、アナキンラを適応外使用された患者を後ろ向きに解析し、マッチングさせた対照コホート(免疫調節治療を受けなかった患者)と比較した。主要エンドポイントは day-28 での生存とした。コホートは、患者 112 人(アナキンラ治療群 56 人および対照群 56 人)で構成されていた。Day-28 での生存数は 69 人(61.6%)で、アナキンラ治療群では対照群より有意に高かった(75.0% vs 48.2%; $p=0.007$)。ベースライン時の持続気道陽圧療法使用の有無で層別した場合も、アナキンラ治療を受けた患者の生存率は対照群と比較して有意に高かった($p=0.008$)。単変量解析では、アナキンラの使用(オッズ比 3.2;95%信頼区間[1.47～7.17])が有意な生存予測因子として特定された。これは多変量解析では支持されなかった。感染関連有害事象の発生率は 2 群間でほぼ同程度であった。結論として、アナキンラは COVID-19 関連 ARDS を有する患者において、全生存期間と侵襲的人工呼吸器不使用の生存期間を改善し、忍容性も良好であった。